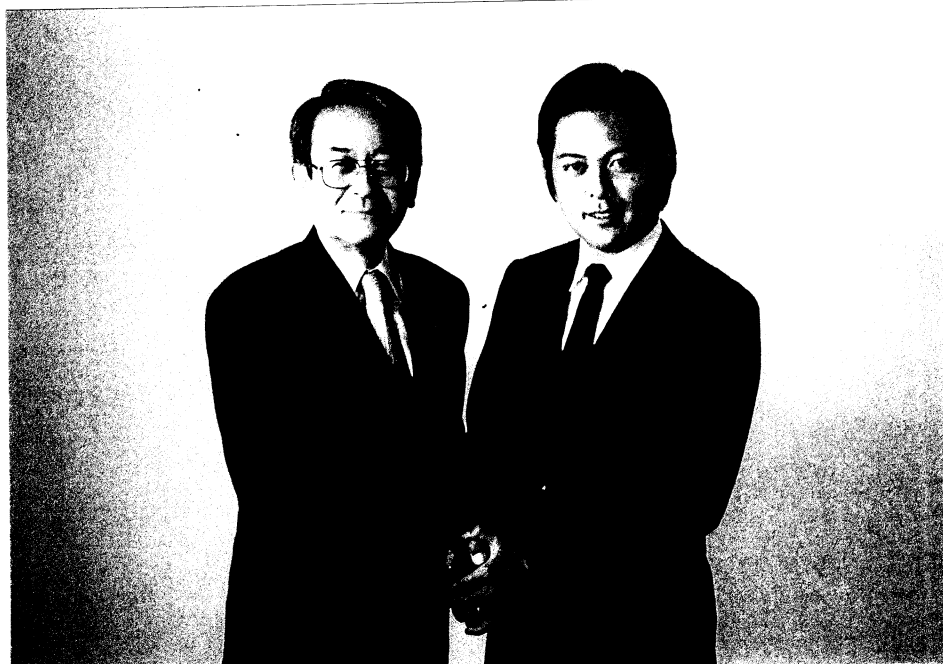


市民の選択 示された

新岐阜市長 **柴橋正直** 氏



(写真左) 松原のりかず (写真右) 柴橋正直 新岐阜市長

激戦、7人立候補の岐阜市長選挙を、柴橋正直候補が勝ち抜き当選されました。岐阜市には多くの課題がありますが、新市長自身の見識を持って問題に取り組んで頂きたいと思います。何方かや、識者等の受け売りではなく、ご自身の見識をあらゆる場面で発揮される事を、政治家たる柴橋新市長に期待します。

少子高齢化社会は避けようもありません。人口減少も一部を除き日本社会の多くが抱える問題です。困難な条件は同じですが、首長の政策で他都市よりも「より良い行政」を市民へ届けることは可能です。

出来ない理由を国や県に見つける事はたやすい事ですが、その行為で市民を幸せには出来ません。政治の大きな任務の一つは所得の再配分です。市民生活レベルの底上げは結果として、都市全体の幸福を作り出します。格差の解消を考慮しない政策を語る声は岐阜市民の心に響きません。福祉、教育、経済、心に響く政策を新市長に期待します。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

松本前副大臣やじ

「それで何人死んだんだ」

副大臣（当時）やじと辞任のニュースは、岐阜市長選挙投票日 28 日の早朝でした。国会で「相次ぐ米軍機事故」に関して飛ばした「やじ」は、改めて自民党のおごりを感じさせる出来事となりました。自民推薦、公明支持の候補者が岐阜市長選で敗れました。

自民党推薦候補は安倍内閣の総務大臣とペアのポスターを市内全域に張り巡らせた後の投票日。保守王国岐阜と言われた岐阜県で自民推薦の市長選候補者が敗退するのは極めて異例。28日は沖縄名護市長選挙の告示日でもあります。岐阜市民のメッセージは沖縄に届くだろうか。

きっかけは アーケード更新予算が無かった事 北九州

②-1 魚町サンロード商店街の再生



- 【リノベーションの取組み】
○複数のリノベーション物件
- 【商店街の取組み】
○アーケードの撤去
- 【市の取組み】
○道路の改換
- 【国家戦略特区】
○道路占用要件の一部緩和



1月16日に、都市活性化対策特委で北九州市のリノベーション事業を視察させて頂きました。感心を持ちましたのは、商店街再生に関連して「アーケードの撤去」が行なわれている事。商店街で積立てがされていない問題も大ですが、存在する物を継続し続けるだけが「良い事」と言えない事例を学習。「アーケードが在るから人が来る」時代でもないし、もともとは、「人が多いから、アーケードを作った」時代の名残りかと。再生時の一考必要。

また、他の場所ではこの種の再生は、岐阜市の玉宮町のように、カフェ、レストラン、アパレル関係が良く聞く例ですが、「建築関係の設計者等の関連会社が合同入居」されている再生家屋例には興味を持ちました。（写真上・アーケード撤去前

下・撤去後・すべらない舗装・道中央は側溝）



松原のりかず
☎058-253-2500